



子どもの未来社
新刊案内

教育書ご担当者様

2019年7月
下旬発売予定

この時代を生き抜くヒントが満載!

向かい風が吹いていても

カウンターを生きる10人の声

私たちはいま何を大切に、どう社会と向き合いながら生きていけばよいのか。そして、子どもや若者に何を伝えたらよいのか。

本書は、この重苦しい時代に、カウンターを懸命に、そして陽気に生きている10人——、コメディアン、作家、映画監督、ジャーナリスト、研究者、社会活動家らのインタビューを収録。ホームレス支援、沖縄基地問題やヘイトスピーチ、日本社会の構造や教育をめぐる問題など多岐にわたる分野から、平和や憲法の大切さ、人と人とのつながりなど私たちがいま失っていること、大事にすべきことを照らし出す。ひるむことのない10人それぞれの生き方や信念にふれ、腹の底から「生きるちから」が湧いてくる!

【聞き手】管間正道（自由の森学園高校・教頭）



松元ヒロさん

怒りを笑いへ 笑いをメッセージへ
—芸人人生で出会った人たち、言葉たち



清水真砂子さん

この世界は生きるに値する
—言葉・平和・子育てをめぐる



奥田知志さん

本気で“助けて”って言ったこと、ありますか?
—助け/助けられることこそ教育



落合恵子さん

それぞれが「わたし」を生きていることを、互いに支え合う
—誰もが深呼吸できる社会を



辛 淑玉さん

バカヤロー! と言える子ども、聞える子どもを育てよ!
—自己と仕事の奪還を通じて社会の奪還を



塚本晋也さん

戦場を経験した人の声を聴く、繋ぐ
—映画『野火』と戦争体験



三上智恵さん

弱者の目線に立って権力を監視する…それがジャーナリズム
—沖縄戦を原点に世界を読み解く



安田業津紀さん

害われし人々と世界に寄り添う
—職業としてのフォトジャーナリスト



小熊英二さん

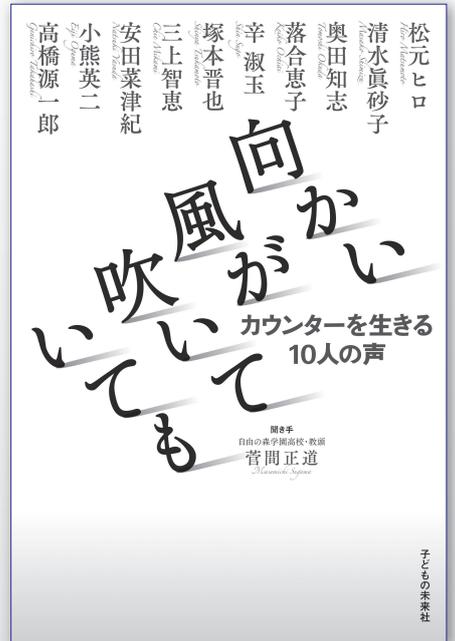
「おまかせの国づくり」から「自前の社会づくり」へ
—危機と岐路にある日本社会



高橋源一郎さん

教育とか文化って“叔父さん”なんです
—子育て、文学に「正解」はない(?)

心に響く
メッセージ!



四六判並製・256頁 本体1,800円+税
ISBN978-4-86412-173-6 C0037

ご注文はFAXで右記弊社営業部までお願いします。 **FAX: 03 (3830) 0028** (担当: 奥川)

注文書	ご注文冊数	書名
書店番線印		向かい風が吹いていても 松元ヒロ、清水真砂子他 著
条件: 委託 (7月16日締切)	冊	定価: 本体 1,800円 + 税 ISBN 978-4-86412-173-6 C0037